

＝ 病院の理念 ＝
 人間の尊厳と患者の権利を守り、安全・安心の医療、差別のない医療、納得の医療を患者様や地域の方々とともに目指します。

東葛の健康

№ **452** 2022年 **4** 月号
 (毎月5日発行) (定価1部20円)
 発行 東京勤労者医療会東葛病院 院長 井上 均
 〒270-0153 千葉県流山市中102-1
 TEL 04 (7159) 1011(代)
 FAX 04 (7158) 9202
<http://www.tokatsu-hp.com/services/out/organization/>

第4のがん治療・緩和ケア お気軽にご利用・相談ください

**東葛の医療
 緩和ケア**

早期からの緩和ケアを より多くのがん患者・家族に



木下寛也医師

緩和ケアは第4のがん治療

がんの3大治療は、手術、薬物療法（抗がん剤など）、放射線療法です。がんは痛い、つらい、死に至る病というイメージがまだまだ強いかもしれません。そこで登場したのが、緩和ケアです。近年、緩和ケアは第4のがん治療として注目されています。

しかし、まだまだ緩和ケアはどういうものか知られていなかったり、誤解されていたり、そのために適切に利用されていないことも多いです。そこで、緩和ケアについて皆さんにご理解いただき、当院の緩和ケアをもっとご利用頂ければと思います。

緩和ケアとは

WHO（世界保健機構）は、「緩和ケアとは、生命を脅かす病に關連する問題に直面している患者とその家族の生活の質を、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュア

ルな問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで、苦痛を予防し和らげることを通して向上させるアプローチである」と緩和ケアについて定義しています。

もう少しわかりやすく表現すると、がんなどの治すことが難しい病気にかかった患者の身体の苦痛、気持ちのつらさを和らげ、患者・家族が病気とうまく付き合っていけるよう早期から支援する医

療、それが緩和ケアです。

緩和ケア＝終末期ケアという誤解

緩和ケアについて少し知識のある方でも、まだまだ緩和ケアは終末期ケアと誤解して抗感から、なかなか緩和ケア科を自ら受診する方は少ないのが現状です。また、緩和ケアに関する知識がある患者ががん治療を受けている主治医に緩和ケア

科を受診したいと伝えても、主治医から「緩和ケアはまだ早い」と言われることもあるようです。さらに、緩和ケア科に受診しようとして、問い合わせると、「抗がん治療を終了してから来てください」と言われることもあるようです。

このように、緩和ケアに関する誤解や誤用は、まだまだ患者・家族、がん治療医、緩和ケア医に多く見受けられます。そして、現状



東葛病院8F緩和ケア病棟デイルーム

緩和ケア科紹介



緩和ケア病棟紹介



において緩和ケアはまだだがん患者・家族には届いていません。早期からの緩和ケア

終末期ではなく、がん治療の早期から緩和ケアを受けた方が、病気を抱えてもより良い生活を送ることができるとい研究結果が出てから、早期からの緩和ケアという言葉がこの10年間盛んに言われるようになってきました。

しかし、現状は早期からの緩和ケアはまだまだ提供されているとは言いがたい状況です。早期からの緩和ケアをより多くのがん患者・家族に届けたいと考え東葛病院緩和ケア科のスタッフは日常の診療に取り組んでいます。

東葛病院が提供する緩和ケア
 当院で提供している緩和ケアは、緩和ケア外来、緩和ケア病棟、さらには付属診療所からの訪問診療があります。

さらに、2022年4月より緩和ケアチームとして、他の診療科

に入院中のがん患者に對しても専門的緩和ケアを提供出来るようになります。

緩和ケア科外来
 何をするか

当院の緩和ケア科の特徴の一つに、外来を東葛病院で治療を受けている患者だけでなく、他院で治療を受けている患者に門戸を開いていることです。外来受診枠にはまだまだ余裕があるので、お気軽に受診してください。

緩和ケア科外来では、患者の痛みなどの身体的苦痛はもちろん気持ちのつらさ、さらには患者・家族の日常生活における病気との付き合い方、社会福祉的な支援の受け方など様々な悩み事について相談が可能です。がんと診断されたら、是非、一度早い時期に緩和ケア科外来の受診をお勧めします。

当院の緩和ケア科医

師はいずれも国立がん研究センター東病院出身で、がん患者の診療の経験は豊富です。

がんになっても安心して暮らせる町づくり

地域の皆様の中にはきつと様々な病院で治療を受けている方がいらっしゃると思います。このような患者・家族に對しても、地域において安心して暮らせることを目標に私たち緩和ケア科の医師は、日々の診療に携わっています。さらに、地域のがん専門病院や訪問診療を提供している診療所、がん患者に専門的に対応できる施設との連携を深める努力を日々行っています。

いずれの医療もそうですが、緩和ケアも自ら求めないと、なかなか辿り着くことは出来ません。主治医から紹介される前に、是非一度主治医に緩和ケアの外来を受診してみたいとお伝えください。主治医からまだ早いと言われても、「今後のことを考えて一度だけでもまず相談に行きたい」とお伝えください。

東葛病院が提供する緩和ケア

聴診器



POPは歌やダンスのレベルが高く世界でも人気がある▼グループの契約期間は7年。再契約するかは事務所との話し合いで決まる。メンバーの離脱や解散するグループも多く、7年目のシンクスと呼ばれている▼特に最近では女性グループの活躍が目覚ましい▼第1世代では「E-girls」が人気・実力を争い切逐逐磨、第2世代の「少女時代」(S.E.M.)らが世界の扉を開き、第3世代の「TWICE」、BLACKPINKらが世界を席巻した▼第4世代以降は、よりグローバル化が進み多国籍グループが多▼「aespa」、「IVE」、「Kep1er」など、日本人メンバーも多く活躍している▼韓国政府は、韓国のダンスや演技の教室などで研修する外国人にビザを与え「韓流ビザ」を年内に導入の予定。法務省の担当の話では、海外から人材を呼び韓流コンテンツを更に広げ、外貨獲得や雇用創出を目指しているようだ▼「韓流ビザ」導入で更に質の高い次世代グループが出てくることを楽しみにしている(生)